



〔鳥ケ内海岸にて〕

- ① 25cm×25cm枠の厚紙を、砂浜に置く。
- ② 枠内の砂を、3cm程度の深さまで採取する。（深さは、スコップで測ってね。）
- ③ 採取した砂は、フルイ（粗い目）にかける。フルった砂は、ポリバケツに落ちるように、フルイの下にバケツを置いておく。

※1度にフルイに乗せられないので、2～3回に分けて行う。

- ④ フルイ（粗い目）に残った海岸漂着物（貝殻、小枝、プラスチック片）をジップバックAに入れる。 ※小石も、いっしょに入れてよい。

- ④ ③でポリバケツに落ちた砂を、もう一度フルイ（細かい目）にかける。フルった砂は、ポリバケツにもう一度落とす。

- ⑤ フルイ（細かい目）に残った海岸漂着物を、④のジップバックに入れる。

- ⑥ 空のバケツを使って、砂の入ったポリバケツに海水を入れる。

- ⑦ 金魚ネットの持ち手側をポリバケツに入れて、砂を良くかき混ぜる。

- ⑧ 浮いてきたものだけを、金魚ネットですくい、ジップバックBに入れる。

- ⑨ ⑦～⑧を3～4回くり返す。

- ⑩ ジップバックA・Bの中にプラスチック片があるかどうかたしかめる。

- ⑪ ポリバケツの中の砂を捨てて、海の水で軽く洗う。

- ⑫ ポリバケツ、金魚ネット、スコップなどを、シャワー場の水道水で洗う。

- ⑬ ポリバケツの中に、金魚ネット、スコップ、ジップバックA・Bを入れて、回収場所に提出する。（シャワー場近くに、段ボールを用意します。）

片付けだよ

○回収したものは、もう少し涼しい季節になってから、理科室で取り分けて顕微鏡で観察をします。



①～③ ↑厚紙 フルイ（粗）



④集まった海岸漂着物を、ジップバックAへ



⑤フルイ（細）で集めた海岸漂着物もAへ回収



⑥海水をゆっくり入れよう。〔半分～7割程度〕



⑦金魚ネットを反対に持ってしっかり混ぜよう。



⑧浮いているものを、できるだけすくって、ジップバックBへ



最後に、きれいにお片付けをしよう。

お疲れSUMMER

